

【商業科・事務情報科】 1 年次 【必修】科目 「世界史A」授業のシラバス

1 概要

教科名	地歴・公民科	科目名	世界史A	単位数	2（78）
科目の目標	近現代史を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解し、現代の諸課題を歴史的観点から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養います。				
教科書 (出版社)	高等学校 改訂版 世界史A（第一学習社） 地歴高等地図 現代世界とその歴史的背景（帝国書院）	副教材 (出版社)	改訂版 世界史Aノート（第一学習社） ダイアログ 世界史図表 新版（第一学習社）		

2 学習の方法

- (1) 予習について
- ・世界史Aノートの左側のページにある「作業」やダイアログに付属している白地図ワークの自然地域・国名・都市名を記入しておくことで、地理的感覚を把握しておくこと。
 - ・教科書を軽く読んで、重要人物や重要用語を把握しておくこと。
- (2) 授業について
- ・板書及び、授業に関するプリントを配布したりします。
- (3) 復習について
- ・ノートを見開きで使用します。左側は、板書事項。右側は補足、プリントを貼る、まとめ記入などに使います。
 - ・世界史Aノートの残りの空欄を埋めておくこと。
 - ・単元ごとに、復習問題を配布します。繰り返し学習することで、基本的な歴史的事項についての理解の定着を図りましょう。

〈学習アドバイス〉

板書ノートは、補足事項が書けるように空白を多めにすること。
配布されたプリント等はなくさないようにきちんと貼ること。
世界史Aノートや白地図ワークをしっかりと取り組むこと。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
① 関心・意欲・態度	歴史的・地理的事象に対する関心と問題意識を高め、意欲的に追求する姿勢を評価します。
② 知識・理解	歴史的・地理的事象に対しての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけているかを評価します。
③ 思考・判断・表現	歴史的・地理的事象から課題を見だし、歴史的過程と生活・文化の地域的特色を多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現しているかを評価します。
④ 資料活用 の 技能	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用しているかを評価します。

(2) 評価の方法（以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する）

評価材料								
観 点	割合	定期考査	小テスト	レポート	休業中の課題	ノート・世界史Aノート	提出期限	グループワーク
① 関心・意欲・態度	25%	日常的な取り組みを見ます				○	○	○
② 知識・理解	25%	○ 教科書レベル、単元の復習問題、世界史ノートの本文の空欄やチェック&ワークなどから出題	○					
③ 思考・判断・表現	25%	○ 教科書や授業中での諸資料から出題 論述形式もある	○	○	○			○
④ 資料活用 の 技能	25%	○ 教科書や授業中での諸資料、世界史ノートのCHALLENGE しよう、論述形式もある		○	○			○

〈担当者からのメッセージ〉

- 過去の歴史を学び、現在や未来の世の在り方を考える。それが歴史学習の意義です。「なぜ、起こったのか？」そして「どのように展開」し、その後の歴史に「どう影響を及ぼしたのか？」を考える歴史的思考力を身につけながら、「高い志をもち、地域や国際社会の未来を切り拓く人間」となっていきましょう。
- 提出課題は忘れずに提出すること。定期考査の点数をある一定以上とらないと、いい評価は期待できません。教科担任の話をしっかり聞いて、授業に取り組み、家庭学習に力を入れましょう。
- 歴史を題材とした映画は、これまで多くつくられ、見るものに感動を与え、考えさせられるものもあります。授業で紹介しますので、ぜひ鑑賞し理解を深めましょう

【商業科・事務情報科】 1 年次 【必修】科目 「世界史A」授業のシラバス

4 授業計画

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考查等
前期	世界の一体化と日本					
4	第1章 ユーラシアの諸文明	6	・東アジア ・南アジア	①	・中国とインドの文明の特質を理解することができる。	小テスト
5		8	・西アジア ・ヨーロッパ	②	・西アジア、ヨーロッパの地中海で文明が栄えた背景を理解することができる。	ノート、世界史ノートの提出
6	第2章 結びつく世界と近世の日本	6	・大航海時代 ・ルネサンスと宗教改革 ・17～18世紀のヨーロッパ	② ③④	・大航海時代の特質について理解し、世界の一体化へ向かう過程を考察することができる ・ルネサンスと宗教改革の関係性を理解することができる。 ・ヨーロッパの絶対王政を理解することができる。	前期中間考查 レポート グループワーク 小テスト
7	第3章 ヨーロッパ・アメリカの工業と国民形成	8	・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命 ・イギリスに挑戦したナポレオン	② ② ②	・産業革命が起きた背景と特質を理解することができる。 ・欧米で市民革命が起きた背景と経過を理解することができる。 ・ナポレオンが果たした歴史上の役割を諸資料に基づき考察することができる。	休業中課題 グループワーク
8		4	・アメリカ社会の膨張	③④	・アメリカ南北戦争の背景、過程、結果とその後の影響について考察することができる。	小テスト グループワーク
9	地球社会と日本 第1章 帝国主義の時代	6	・帝国主義の時代 ・列強の世界政策	③④	・帝国主義の背景・各国の諸政策の特質を理解することができる。	前期期末考查 ノート、世界史ノートの提出
	第3章 世界戦争と平和		・第一次世界大戦 ・ロシア革命と大戦の終結	① ② ②	・第一次世界大戦とロシア革命の背景、過程、結果について理解することができる。	
後期		10	・ベルサイユ・ワシントン体制 ・世界恐慌	②	・ドイツにとって過酷であったベルサイユ体制や世界恐慌が第二次世界大戦が引き起こされる要因となることを考察することができる。 ・ファシズムの特色について理解することができる。	グループワーク 小テスト
		10	・ファシズムの台頭	③④		レポート グループワーク
11		10	・日本の軍国主義と中国 ・第二次世界大戦	② ③④	・なぜ日本が中国で軍事行動を行ったのかについて考察することができる。 ・第二次世界大戦の背景や各国の諸政策特質を理解することができる。 ・第二次世界大戦の背景や、諸外国との関係性について諸資料に基づき表現することができる。	小テスト グループワーク
12	第4章 三つの世界と日本の動向	6	・戦後世界の出発 ・戦後の東アジア ・戦後の西アジア・アフリカ ・第三世界の台頭	③④ ②	・戦後社会の特質と各国の動向を理解することができる。 ・戦後社会の各国の動向と関係性について諸資料に基づき表現することができる。	後期中間考查 ノート、世界史ノートの提出 グループワーク 休業中課題
1		4	・変容する冷戦 ・中国の動揺とベトナム戦争	③④ ②	・戦後社会の特質と各国の動向を理解することができる。 ・戦後社会の各国の動向と関係性について諸資料に基づき表現することができる。	グループワーク
2	第5章 地球社会への歩みと課題	6	・アメリカの動揺 ・東アジア・東南アジアの変容 ・西アジア・アフリカ・ラテンアメリカの変容	③④ ②	・戦後社会の特質と各国の動向を理解することができる。 ・戦後社会の各国の動向と関係性について諸資料に基づき表現することができる。	学年末考查 ノート、世界史ノートの提出
3		4	・冷戦の終結 ・冷戦後のアメリカと国際社会	③④ ②	・冷戦終結後の社会の特質と各国の動向を理解することができる。 ・冷戦終結後の各国の動向と関係性について諸資料に基づき表現することができる。	グループワーク
		計 78		③④		

※ 観点別評価①は関心・意欲・態度、②は知識・理解、③は思考・判断・表現、④は資料活用 of の技能を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。